

令和元年度負担金事業報告

1. 中海・宍道湖一斉清掃 【資料編 p. 1-2】

環境月間である6月の行事として、市民及び事業所の協力を得て宍道湖の清掃活動を行った。平成7年から実施しており、令和元年度で25回目となった。ラムサール条約登録を契機に平成18年度から中海圏域と併せて実施している。

実施日 令和元年6月9日(日)
参加者数 宍道湖 3,502名(全体 6,665名)
ごみの量 宍道湖 6.93t(全体 12.07t)

2. ヨシ関連事業 【資料編 p. 3】

宍道湖の水質保全のためにはヨシ帯の適正な管理が必要であるため、ヨシの刈り取り事業及び刈り取ったヨシの利活用事業に取り組んだ。

〔ヨシ刈り取り事業〕 【一部中止】

実施時期 令和元年12月14日(土) 8名
令和2年2月11日(火) 22名
2月25日(火) 17名
(2月22日は雨天により、3月4日、7日、14日は新型コロナウイルス感染予防により中止)
実施場所 宍道湖西岸なぎさ公園(出雲市斐川町坂田)
参加者数 47名(前年度 336名)
刈取面積 約1,000㎡(前年度 7,520㎡)

〔ヨシ紙、手すき用ヨシパルプの製作〕 【中止】

事業内容 3月7日(土)に刈り取ったヨシをパルプ化する予定であったが、新型コロナウイルス感染予防により中止としたため、ヨシ紙の製作が行えなかった。

[ヨシ紙活用に向けた広報活動]

事業内容 名刺や名札及び中学校においてヨシ紙を活用した。

[草抑えとしての活用]

事業内容 ヨシ刈り取り事業で刈り取ったヨシを、主に農業用の草抑えとして活用いただいた。

[メモ帳、折り紙の作成]

事業内容 ヨシ紙でメモ帳を 2,000 冊作成し、啓発用資材として活用した。
さらに、新たな啓発用資材としてヨシ紙折り紙 300 セットを作成した。

3. 環境関連啓発事業 【資料編 p. 4-5】

宍道湖の水環境に関心を持って頂くことを目的として、小学生などを対象に水と直接触れ合う環境学習会等を開催した。

[手長エビ採り体験]

事業内容 宍道湖の豊かな自然に触れることで水環境への理解を深めて頂くことを目的として、手長エビ採り体験を実施した。

実施日 令和元年7月26日(金)

実施場所 千鳥南公園(松江市千鳥町)

参加者数 98名(子ども54名、保護者44名)

[シジミ採り体験]

事業内容 シジミ採り体験、シジミのみそ汁の試食及び日本シジミ研究所による宍道湖の水環境や生き物についての講話を実施した。

実施日 令和元年8月20日(火)

実施場所 日本シジミ研究所(松江市玉湯町林)

参加者数 53名(子ども31名、保護者22名)

[ヨシ紙すき体験教室]

事業内容 ヨシの刈り取りの重要性を学習し、ヨシ刈り取り事業で刈り取ったヨシで作成したヨシパルプによる紙すき体験を行い、はがきを作成した。

実施日 令和元年8月25日(日)

実施場所 斐川環境学習センター(出雲市斐川町出西)

参加者数 25名(子ども14名、保護者11名)

[宍道湖絵画コンクール]

事業内容 「将来こんな宍道湖になっていたらいいな」をテーマに絵画を募集した。優秀作品は松江市環境フェスティバルで展示を行った。特選作品はヨシ紙メモ帳の表紙として活用した。

募集期間 令和元年7月22日(月)から9月30日(月)

作品数 57作品(9校)

表彰 特選1名、入選4名、佳作6名

4. 斐伊川水系の上下流交流事業 【資料編 p.6-7】

上流と下流の人々の交流を図りながら水環境を学んで頂くことを目的として、奥出雲町横田公民館と連携し小学生を対象としたイベントを実施した。また、治水サイドと連携し、斐伊川上流部の施設見学及び水質調査を行い、宍道湖だけでなく斐伊川水系全体の水環境改善の意識を高める事業も実施した。

[斐伊川水系上流部の水質調査、オオサンショウウオの観察]

事業内容 上流と下流の小学生が交流し、奥出雲町横田の加食地区で水質調査及びオオサンショウウオの観察を行った。

実施日 令和元年7月30日(火)

実施場所 奥出雲町横田

参加者数 24名(松江市10名 出雲市5名 奥出雲町9名 全て子ども)

[斐伊川水系上流部の施設見学、水質調査]

事業内容 尾原ダム等各種施設の見学及び水質調査など、治水と水環境保全を絡めた交流事業を実施した。

実施日 令和元年10月20日(日)

実施場所 斐伊川放水路事業記念館(出雲市上塩冶町)
尾原ダム、尾原地域づくり支援センター(雲南市木次町)

参加者数 30名(子ども15名、保護者15名)

5. 調査研究事業

宍道湖の水環境改善に対してより効果的な対策及び施策を提案するために、専門家を招いて勉強会を開催した。

[専門家を招いた勉強会]

事業内容 「宍道湖水環境改善のために行政が今すべきこと」をテーマに、専門とする識者を招聘して委員への講義及び意見交換を行った。

実施日 令和2年1月27日(月)

実施場所 ホテル白鳥 鳳凰の間(松江市千鳥町)

参加者数 40名(協議会委員、幹事、担当者、関係する行政職員)

講師 島根大学エスチュアリー研究センター長 齋藤 文紀 教授

島根大学生物資源科学部 山口 啓子 教授

島根県水産技術センター 原口 展子 主任研究員

講演の概要 「シオグサの生理生態とシジミに与える影響」

・シオグサ類の調査・研究からわかってきたこと

高温でも成長と再生産を継続している可能性が高い。さらに、高塩分はライフサイクルを早める可能性がある。

シオグサ類を含む水産性植物繁茂は、まだわからないことばかりなため、その生態をしっかりと理解した上で対策を立てることが大切である。

- ・ヤマトシジミの底生生物に与える影響

繁茂期に生じた貧酸素化と夏場の高水温とが合わさるとシジミのエラ組織にダメージを与える。さらに、シオグサ枯死による硫化水素発生はエラ組織を壊死させる。高水温時には、数日で死亡率が急激に上昇する。シオグサが底生生物に与える影響を軽減するためには、水の流動があることが重要である。

令和元年度 決算書

【歳入】

単位：円

費目	予算額	決算額	増減	備考
1 負担金	2,782,000	2,782,000	0	(面積割) 松江市 2,002千円 出雲市 780千円
2 繰越金	429,774	429,774	0	
3 諸収入	26	15	△ 11	預金利息
合計	3,211,800	3,211,789	△ 11	

【歳出】

単位：円

費目	予算額	決算額	増減	備考
1 会議費	37,000	31,860	△ 5,140	総会会場使用料
2 事務費	100,000	107,129	7,129	消耗品、郵送料、振込手数料
3 事業費	3,025,300	1,586,368	△ 1,438,932	
1 一斉清掃	220,000	238,398	18,398	中海・宍道湖一斉清掃
2 ヨシ関連事業	1,299,800	489,192	△ 810,608	オリジナル啓発用品作成 (メモ帳、折り紙)
3 環境関連啓発事業	713,500	438,960	△ 274,540	協議会ホームページ保守料
4 斐伊川水系の上下流交流	500,000	342,888	△ 157,112	水質調査学習委託料 ジャンボタクシー借上料
5 調査研究	292,000	76,930	△ 215,070	勉強会会場使用料、講師謝金
4 予備費	49,500	0	△ 49,500	
合計	3,211,800	1,725,357	△ 1,486,443	

歳入合計	3,211,789	
歳出合計	1,725,357	
差額	1,486,432	(次年度繰越額)

監 査 報 告 書

宍道湖水環境改善協議会規約第7条第3項の規定に基づき、令和元年度宍道湖水環境改善協議会収支決算について監査を実施した結果、会計帳簿、領収書並びに金融機関の預金通帳といずれも合致し、正確であることを認める。

令和2年6月29日

監 事 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所長 大 作 和 弘

監 事 島根県環境生活部長 竹 内 俊 勝

※ 個人情報保護の観点から、署名及び印影については資料に掲載いたしません。

令和2年度負担金事業計画（案）

1. 中海・宍道湖一斉清掃

中止：新型コロナウイルス感染防止

2. ヨシ関連事業

宍道湖の水質保全のためにはヨシ帯の適正な管理が必要であるため、ヨシの刈り取り事業及び刈り取ったヨシの利活用事業に取り組む。

[ヨシ刈り取り事業]

実施時期 令和2年12月～令和3年3月（4回程度）

実施場所 宍道湖西岸なぎさ公園（出雲市斐川町坂田）

[ヨシ紙、手すき用ヨシパルプの製作]

事業内容 ヨシ刈り取り事業で刈り取ったヨシで、ヨシ紙及び手すき用パルプを作成し、環境学習用資材として学校へ提供ならびに紙すき体験教室などに利用する。

[ヨシ紙活用に向けた広報活動]

事業内容 名刺や名札などヨシ紙の活用を働きかける。

[草抑えとしての活用]

事業内容 ヨシ刈り取り事業で刈り取ったヨシを、個人及び団体に提供し利活用を図る。

実施期間 令和2年12月～

3. 環境関連啓発事業

宍道湖の水環境に関心をもって頂くことを目的として、小学生などを対象に水と直接触れ合う環境学習会等を開催する。

[手長エビ採り体験]

事業内容 宍道湖の豊かな自然に触れることで水環境への理解を深めて頂くことを目的として、手長エビ採り体験を実施する。

実施日 令和2年8月12日（水）、8月19日（水）

実施場所 千鳥南公園（松江市千鳥町）

事業対象 小学生とその家族（各回30名）

[シジミ採り体験]

中止：新型コロナウイルス感染防止

[ヨシ紙すき体験教室]

中止：昨年度のヨシ刈りボランティア中止によりヨシパルプがないため

[宍道湖はがき絵コンクール]

事業内容 「将来こんな宍道湖になっていたらいいな」をテーマにはがき絵を募集する。優秀作品は協議会の様々な事業に活用し、水環境保全意識啓発に努める。

応募締切 令和2年10月15日（木）

事業対象 小学校4～6年生

4. 斐伊川水系の上下流交流事業

上流と下流の人々の交流を図りながら水環境を学んで頂くことを目的として、斐伊川上流部の施設見学及び水質調査を行い、宍道湖だけでなく斐伊川水系全体の水環境改善の意識を高める事業を実施する。

[斐伊川水系上流部の水質調査、オオサンショウウオの観察]

中止：新型コロナウイルス感染防止

[斐伊川水系上流部の施設見学、水質調査]

事業内容 尾原ダム等各種施設の見学及び水質調査など、治水と水環境保全を絡めた交流事業を実施する。

実施日 令和2年10月18日（日）（さくらおろち湖祭開催日）

実施場所 尾原ダム等（雲南市木次町）

事業対象 小学生とその家族

5. 調査研究事業

宍道湖の水環境改善に対してより効果的な対策及び施策を提案するために、専門家を招いて勉強会を開催する。

令和2年度 予算書 (案)

【歳入】

単位：円

費目	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	増減	備考
1 負担金	2,782,000	2,782,000	0	(面積割) 松江市 2,002千円 出雲市 780千円
2 繰越金	429,774	1,486,432	1,056,658	
3 諸収入	26	68	42	預金利息
合計	3,211,800	4,268,500	1,056,700	

【歳出】

単位：円

費目	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	増減	備考
1 会議費	37,000	100,000	63,000	総会会場使用料
2 事務費	100,000	200,000	100,000	消耗品、郵送料、振込手数料
3 事業費	3,025,300	3,700,000	674,700	
1 一斉清掃	220,000	0	△ 220,000	(中海・宍道湖一斉清掃中止)
2 ヨシ関連事業	1,299,800	1,900,000	600,200	ヨシ刈り取り事業消耗品、保険料 ヨシ運送料 ヨシ紙、ヨシパルプ作製委託料
3 環境関連啓発事業	713,500	1,200,000	486,500	手長エビ採り体験開催経費 はがき絵コンクールチラシ印刷、報償費 ホームページ保守料、OS更新料
4 斐伊川水系の上下流交流	500,000	300,000	△ 200,000	水質調査学習委託料 会場使用料
5 調査研究	292,000	300,000	8,000	
4 予備費	49,500	268,500	219,000	
合計	3,211,800	4,268,500	1,056,700	

役員の改選（案）

会 長

松江市長 松 浦 正 敬

副会長

出雲市長 長 岡 秀 人

監 事

国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所長 武 内 慶 了

島根県環境生活部長 竹 内 俊 勝

〔 任 期 〕

2年